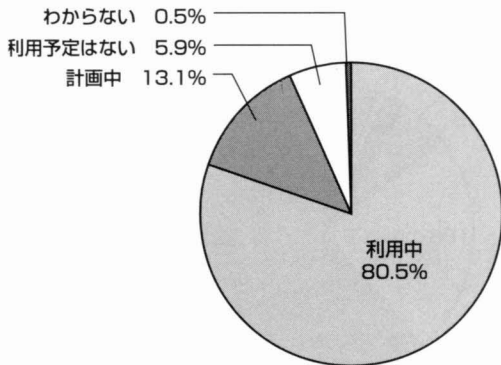


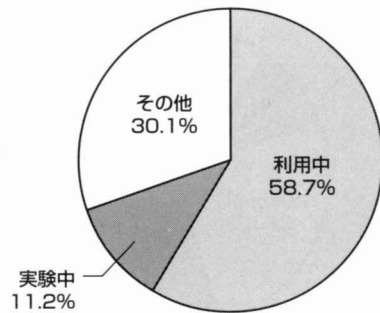
インターネット利用企業は1割増、8割に

資料1-3-1 インターネット技術の利用有無 (1999年)  
N=1,434



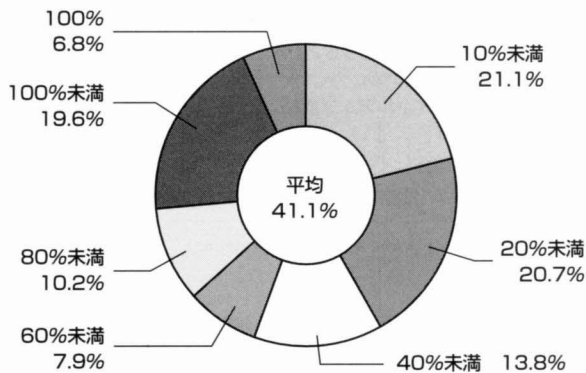
インターネット白書'99 ©インプレス,  
Access Media International&IAJ, 1999

資料1-3-2 インターネット技術の利用有無 (1998年)  
N=1,885



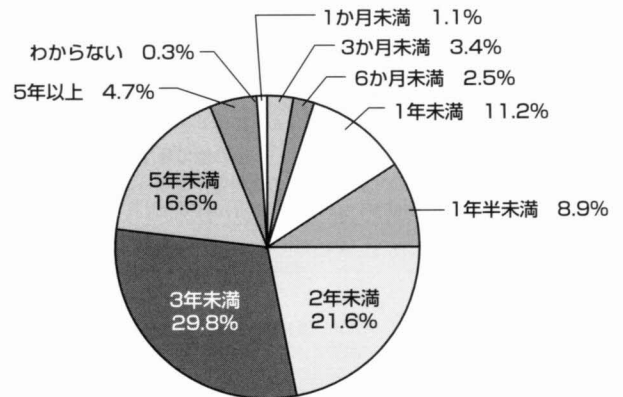
インターネット白書'99 ©インプレス,  
Access Media International&IAJ, 1999

資料1-3-3 インターネットが利用可能なハードウェア比率  
N=1,133



インターネット白書'99 ©インプレス,  
Access Media International&IAJ, 1999

資料1-3-4 インターネットの利用歴 N=1,155



インターネット白書'99 ©インプレス,  
Access Media International&IAJ, 1999

解説

今年の「企業のインターネット利用実態調査」では、3,502事業所に対して質問票を郵送し、1,434の回答を得ている。

インターネットの利用有無は、その利用規模に関わらず、なんらかの形でインターネット技術を利用しているかどうかを聞いている。昨年は「実験中」も含めて「利用中」は69.7%だったが、今年は利用中が80.5%とさらに伸びた。また「計画中（\*今年のみ）の質問」も13.1%あり、将来的にはほとんどの企業がなんらかの形でインターネット技術を利用すると考えられる。

一方「100～999人」や「1,000～4,999人」の事業所でも「利用予定がない」との回答があり、

インターネット技術を利用しないことは単に企業規模の問題でない。

インターネットの利用歴については「2年以上3年未満」(30.0%)が最も多く、次いで「1年半以上2年未満」(21.6%)、「3年以上5年未満」(16.6%)が多い。利用歴1年未満の合計(18.2%)からみても着実に新規利用者が増加しているが、個人利用者同様にインターネットの歴史とともに利用歴は長くなる傾向にある。

今回初めてインターネットを利用している事業所内におけるインターネットを利用可能なハードウェアの比率を聞いた。

全体平均では41.1%となるが、実際はかなり

のばらつきがみられ、「80%以上100%未満」が約2割を占める一方で、「10%未満」という回答もほぼ同じだけあり、「インターネットを利用している」とはいうものの、実際のところはさまざまな理由でかなり限定的な利用となっている企業も少なくない。

(矢野さよみ)

アクセスメディア インターナショナル株式会社



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)